



平成28年度  
高速道路調査会 研究発表会



高速道路の料金制度に関する研究



公益財団法人 高速道路調査会  
研究部 中村 篤

# 本日の発表

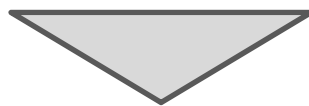
1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会
2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」
3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題
4. 報告書公表以降の研究内容
5. 今後の研究について

# 1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会

## 研究の目的

---

高速道路の料金制度の歴史・課題について整理



高速道路ネットワークの有効活用および機能の維持に資する中長期的な料金制度（体系・水準など）を多角的な観点から検討



《目的》

あるべき料金制度の基本的な考え方を整理

# 1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会 委員会メンバー

平成28年7月1日現在

委員長	杉山 雅洋	早稲田大学 名誉教授
委員	家田 仁	政策研究大学院大学 教授
委員	石田 東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
委員	加藤 一誠	慶應義塾大学商学部 教授
委員	竹内 健蔵	東京女子大学現代教養学部 教授
委員	橘 洋介	広島修道大学商学部 助教
委員	田邊 勝巳	慶應義塾大学商学部 教授
委員	根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科 教授

(敬称略、50音順)

- 有識者委員 8名 (上表)
- 会社委員 12名  
(道路会社6社など)

計 20名

# 1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会 これまでの経緯

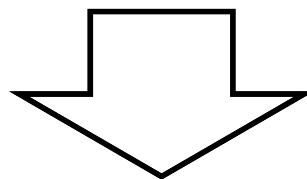
## 《整理①》

「高速道路の料金制度のあり方について」

H21.10  
研究開始

約2年間  
委員会5回開催

H23.8  
中間報告書公表



## 《整理②》

「有料道路制度と負担のあり方について」

研究の  
再スタート

約3年間  
委員会9回開催

### 《論 点》

- ・ 有料道路制度
- ・ 費用負担
- ・ 料金制度・施策

H27.5  
報告書公表

「有料道路制度」  
「費用負担」  
について整理

# 本日の発表

1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会

2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」

3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題

4. 報告書公表以降の研究内容

5. 今後の研究について

## 2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」

# 報告書の概要（H27.5公表）

---

### ① 有料道路制度の基本的考え方

- ⇒ 高速道路を整備推進するための特別措置（道路無料公開原則に反する）
- ⇒ 償還満了後は無料開放
- ⇒ 償還満了後の管理費は税金で賄う

### ② 時代背景の変化と高速道路

- ⇒ ETCの普及、ネットワークの概成により高度な機能とサービスを提供
- ⇒ 償還対象経費に含まれていない大規模更新の必要性
- ⇒ 維持管理費を税込で賄うことは困難
- ⇒ 道路無料公開原則の適用を検討する余地（有料の道路の可能性）

### ③ 将来の有料道路制度

- ⇒ 維持管理費と更新費の負担をどう考えるのか（税金負担、有料継続など）
- ⇒ 諸外国（特に先進国）では無料から有料への傾向が見られる
- ⇒ ソーシャル・アクセプタンス（社会的受容性）が重要

# 本日の発表

1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会
2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」
- 3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題**
4. 報告書公表以降の研究内容
5. 今後の研究について



### 3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題

## 中間答申(H27.7.30)の概要（抜粋）①

### 1. 道路をより賢く使うための取組

#### 高速道路を中心とした「道路を賢く使う取組」の基本的考え方

高速道路を中心とした今ある道路の運用改善や小規模な改良等により、  
高速道路ネットワーク全体としてその機能を時間的・空間的に最大限に発揮させる

#### 高速道路を主な対象とした具体的な取組に向けて

##### 円滑

- ① 科学的な分析に基づく集中的な対策によるボトルネックの解消
- ② ETC2.0を活用した本格的な交通需要マネジメントへの移行

##### 安全

- ③ 高速道路の更なる活用促進による生活道路との機能分化
- ④ 備えの重点化と連携の強化による通行規制時間の最短化

##### 使いやすさ

- ⑤ 最新の社会ニーズに対応した案内、休憩等のサービスの向上
- ⑥ 交通機関相互のシームレス化による人流・物流の活性化

##### 地域連携

- ⑦ 高速道路と施設との直結等による地域とのアクセス機能の強化

参考：国土交通省 国土幹線道路部会 中間答申(H27.7.30)

### 3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題

## 中間答申(H27.7.30)の概要（抜粋）②

### 2. 首都圏の高速道路を賢く使うための料金体系

#### 首都圏料金の賢い3原則

- ① 利用度合いに応じた公平な料金体系
- ② 管理主体を超えたシンプルでシームレスな料金体系
- ③ 交通流動の最適化のための戦略的な料金体系

#### 実現に向けた取組

- ① 料金体系の整理統一
- ② 起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現
- ③ 政策的な料金の導入

### 3. その他

#### 他の大都市圏の料金体系に関する検討

首都圏の料金体系のとりまとめを基本としつつ、近畿圏や中京圏についても議論

#### 将来の高速道路の利用者負担のあり方

料金の低減、管理財源の確保、混在(有料区間と無料区間)の整理、などについて検討

参考：国土交通省 国土幹線道路部会 中間答申(H27.7.30)

### 3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題

## 首都圏の新たな高速道路料金の概要

### 平成28年4月からの料金の概要

#### 料金体系の整理統一

【料金水準】 現行の高速自動車国道の大都市近郊区間の水準に統一

【車種区分】 5車種区分に統一

#### 起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現

起終点間の最短距離を基本に料金を決定

### 新たな料金のポイント

- ① 圏央道利用が不利にならないよう、割高な圏央道西側区間の料金水準の引下げ
- ② ETC2.0搭載車については、割引を更に実施
- ③ 都心に向かう場合、外環を使って迂回しても、外環利用分は全額割引
- ④ 都心通過については、走行距離に応じた料金に変更

参考：国土交通省 首都圏の新たな高速道路料金について(H28.3.10)

# 本日の発表

1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会
2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」
3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題
- 4. 報告書公表以降の研究内容**
5. 今後の研究について

#### 4. 報告書公表以降の研究内容

## 料金制度・施策の整理

あるべき料金制度・施策を  
目指し議論を積み重ねる

Step 5 あるべき料金制度・施策

報告書として公表する

Step 4 整理・解決策

有料道路制度をどう設計するのか？

Step 3 料金制度の課題

今後ときちんと検討すべきことは？

⇒ 料金徴収期間、課金手法、負担の平準化など

Step 2 有料道路制度の目的

なぜ料金をとるのか？

⇒ 高速道路ネットワークの構築、維持管理・更新、需要管理など

Step 1 高速道路の定義

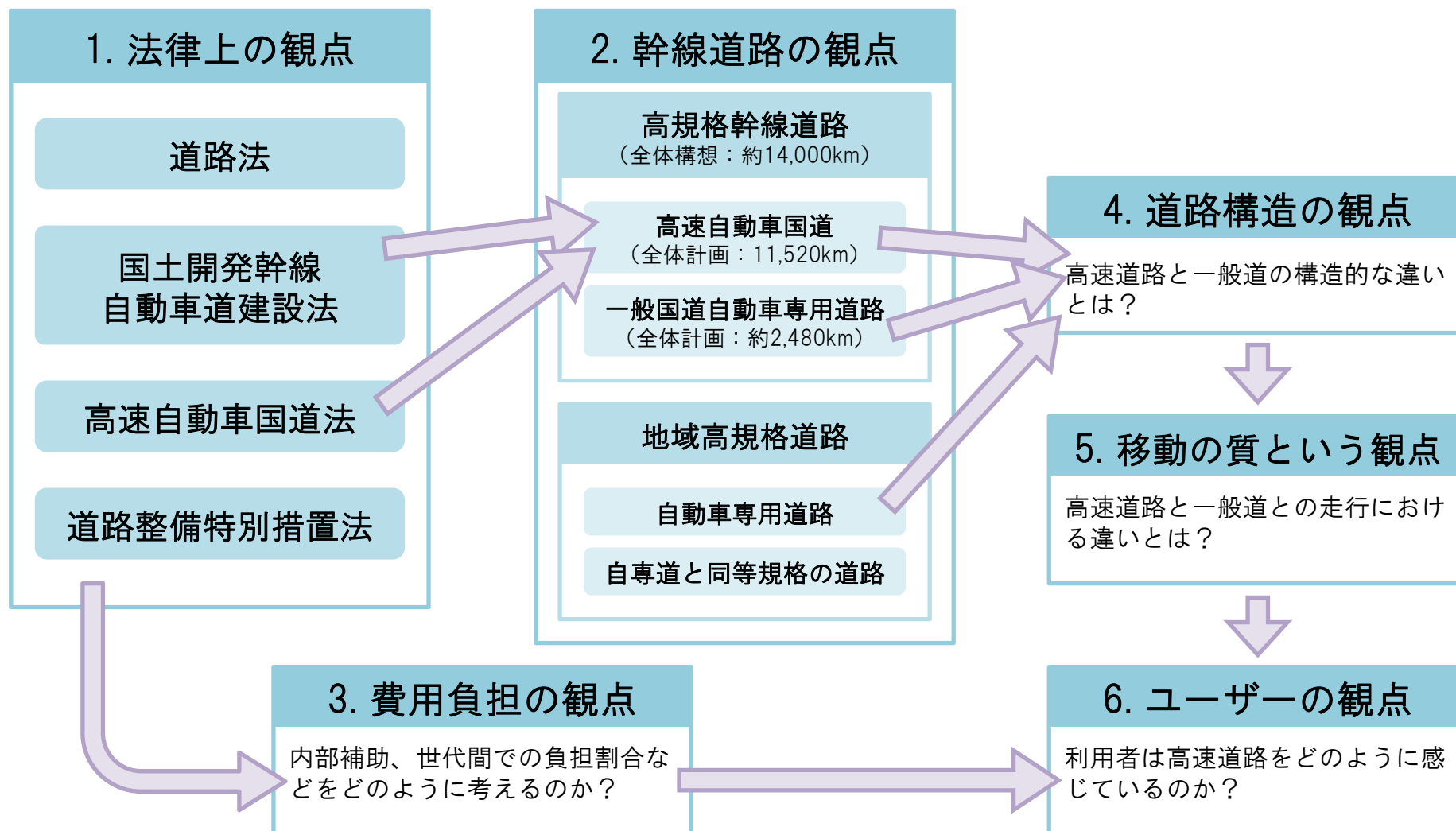
そもそも高速道路とは？

⇒ 高速道路は一般のお客さまだけでなく専門家でも分らないことがある

## 4. 報告書公表以降の研究内容

# 議論・検討内容 ①：高速道路の定義

無料区間も含めた形で高速道路ネットワークを考えることが必要



#### 4. 報告書公表以降の研究内容

## 議論・検討内容 ②：料金のあり方

整備手法や過去の経緯を問わずに料金を考える柔軟性が必要なのは

### 現 状

- ・ 償還主義
- ・ 公正妥当主義
- ・ 便益主義
- ・ プール制
- ・ 画一料金制
- ・ 長距離逓減
- ・ 償還後無料開放

### 課 題

- ・ 公正妥当とは？
- ・ 内部補助必要？
- ・ 管理費・更新費の財源をどうする？
- ・ 道路事業に利潤の概念がない

### 方 向 性

- ・ 公正妥当の整理必要
- ・ 整備の経緯に起因する不公平をなくす
- ・ 整備費はネットワーク全体で確保
- ・ いつかは永久有料？
- ・ 道路事業の利潤についても議論が必要

#### 4. 報告書公表以降の研究内容

### 議論・検討内容 ③：最新の技術

技術進歩に応じた形で料金を考えていく必要がある

#### 現 状

- ・ ETC2.0への移行
- ・ 自動運転の実験

#### 課 題

- ・ ETC2.0のデータは多くの個人情報を含む
- ・ ETC2.0のデータをどこまで開示
- ・ 自動運転に係る追加投資をどう回収する
- ・ 自動運転を後押しする料金制度なのか

#### 方 向 性

- ・ どのデータが開示できるかを整理
- ・ 会社間で開示基準に差がでないよう整理
- ・ 自動運転車への追加投資にかかる応分負担を整理（普及優先、追加負担など）



# 本日の発表

1. 高速道路の料金制度に関する研究委員会
2. 報告書「有料道路制度と負担のあり方について」
3. 有料道路制度を取り巻く情勢と課題
4. 報告書公表以降の研究内容
5. 今後の研究について

## 5. 今後の研究について

H26年度まで

論点①

有料道路制度

論点②

費用負担

H27.5公表の報告書で  
検討・整理

H27年度以降

論点③

料金制度・施策

現在、検討中

報告書として公表

### 〔具体的な調査研究テーマの例〕

- ✓ 目的に応じた料金制度・施策の整理（インフラ課金、外部費用課金など）
- ✓ 現行の料金体系・水準や車種区分などの根本的な部分について再検討すべき点
- ✓ 新たな課金技術によって実現できること
- ✓ 料金施策による交通需要管理
- ✓ 事業主体が自主的に料金施策を行い得る枠組み
- ✓ 社会に受容されるような打ち出し方（ソーシャル・アクセプタンスの観点）

# ご 清 聴 ありがとうございました

当委員会の報告書は、当法人の下記ウェブサイトに  
掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.express-highway.or.jp/jigyo/kenkyu/report/2015/>